

## 2014年10月 : JaCVAM活動マンスリーレポート

NO.	項 目	記 載 内 容
<b>国内学会</b>		
1	発表者名	小島 肇
	演題名	動物実験代替法を用いた”これからの化粧品・医薬部外品の安全性評価とその根拠の示し方”について
	学会名, 発表年月及び場所	化粧品原料協会 講演会(2014.10)(東京)
2	発表者名	小島 肇
	演題名	JaCVAM資料編纂委員会からの提言
	学会名, 発表年月及び場所	ROSアッセイ技術講習会(2014.10)(東京)
<b>国際学会</b>		
1	発表者名	Kojima, H.
	演題名 (和訳を括弧書きで記載)	The International collaboration on developing alternative to animal testing in Japan(日本における動物実験代替法の開発に関する国際共同研究)
	学会名, 発表年月及び場所	2014 International Symposium on Cosmetic regulations(化粧品規制国際シンポジウム), (2014.10)(台北, 台湾)
<b>レギュラトリーサイエンス学会</b>		
1	参加者名	小島 肇
	会議名(英文の場合は和訳も記載)	40th EURL ECVAM SCIENTIFIC ADVISORY COMMITTEE(欧州動物実験代替法評価センター第40回科学諮問会議)
	開催場所, 年月	イタリア・イスプラ市 JRC(ジョイントリサーチセンター), 2014年10月21-22日
	会議内容(150字以内)	欧州動物実験代替法評価センターEURL ECVAM)において開催された「眼刺激性試験代替法EpiOcular, 皮膚刺激性試験代替法epiCSおよび <i>in vitro</i> 薬物代謝試験の第三者評価会議」に参加した。